

power SRAMBLE

■ 田中晃亮さんが、スポーツジャーナル誌で大きく報道されました。

トレーナーとしてパワーハウスのコーチとして、選手として活躍中の田中さんが、スポーツジャーナル誌に紹介されました。

ある一日

●田中晃亮・治療院長

理屈では語れない熱量の中に

5月下旬であるものの真夏の陽気を思わせる強い日差しの中で、その一日は始まった。あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師である田中晃亮氏は、分倍河原駅から徒歩2分ほどのビルの2階に自宅兼治療院を構えている。いつも9時30分頃から、治療院オープン前の準備をスタートし、簡単に掃除などを行う。取材日は、10時から一般女性の治療の予約が入っていた。

田中氏の仕事に対する姿勢は、治療家として経済的な成功を目指すというのではなく、高い専門知識やスキルを保持するために研鑽を重ねつつも、自身のライフワークや生活スタイルに合わせて自由に仕事をやっていくというスタンス。10時の開院から夜遅くまで、丸一日治療を行う日もあれば、取材当日のように1~2件の予約で治療院での活動を終えることもあるそうだ。

自身も身体を動かす

一般女性の治療を終えると、この日は11時から小休憩を取った後、食事を済ませた。その後、12時30分過ぎから治療ルームにて自身のコンディショニングを急に行う。次の現場では、田中氏自身も身体を動かすので、移動前にも十分にストレッチを行うのだそうだ。

13時20分には、治療院を出て京王線分倍河原駅に向かう。移動中、なぜ数多くある治療家の資格の中であん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師を選んだのか聞いてみた。「実をいうと、なんとなくという感じですかね(笑)。ビジネスとして考えるなら、柔道整復師のほうがよかったと思うときもありますが、今となって思えばより細やかに選手の身体に触れることが可能な資格であるという点で、メリットが大きかったなと思います」。

動機について話をうかがっているうちに飛田給駅に到着した。次の現場は、駅から徒歩3分のところにある老舗のパワーリフティング専門ジム「パワーハウス」である。オーナー

■ 1日のスケジュール

9:30	治療院オープン前の準備
10:00	治療院で一般女性の治療
14:00	パラ・パワーリフティング選手の治療
15:00	自身の練習
16:30	ジュニア選手の練習サポート
18:00	パラ・パワーリフティング選手の練習サポート
20:00	治療院に戻ってパワーリフティング選手の治療

撮影協力：パワーハウス
<http://www.powerlifting.co.jp/home/power-house/>

ある一日



9:30 治療院オープン前の準備



10:00 治療院で一般女性の治療



12:30 自身のコンディショニング



14:00 パラ・パワーリフティング選手の治療

⇨P.72へ続く

power SRAMBLE

■ 沖縄新聞に柔道
で、また、パワーリフ
ティングで活躍する盛
さんが大きく報道さ
れました。

資料提供：沖縄県、

盛 龍也



■ 大谷選手が月刊「視
覚障害」の取材を受
けました。